SDS No.　　BPE640-01
作成日: 2025年7月14日

安全データシート

1 製品及び会社情報

製品名	: プチット-TT(テトラチオネート培地)　10ml
会社名	: 株式会社日研生物
住所	: 京都府久世郡久御山町大橋辺堤外縁23番地
担当部門	: 品質保証管理室
電話番号	: 075-631-6187(代)
FAX番号	: 075-632-0367
製品コード	: BPE640

2 危険有害性の要約

GHS分類

健康に対する有害性	: 急性毒性(経口)	区分4
	急性毒性(吸入:粉じん、ミスト)	区分1
	皮膚腐食性・刺激性	区分2
	眼に対する重篤な損傷性・眼刺激性	区分2A
		区分2B
	生殖毒性	区分1B(追加区分)
	皮膚感作性	区分1
	特定標的臓器毒性(単回ばく露)	区分1 甲状腺
		区分3 気道刺激性
	特定標的臓器毒性(反復ばく露)	区分1 皮膚,甲状腺,全身毒性
環境に対する有害性	: 水生環境急性有害性	区分1
	水生環境慢性有害性	区分1

※上記で記載がない危険有害性は、分類対象外か分類できない。

GHSラベル要素
絵表示またはシンボル:



注意喚起語　　: 危険

危険有害性情報　　: 皮膚刺激
強い眼刺激
眼刺激
生殖能又は胎児への悪影響のおそれ
授乳中の子に害を及ぼすおそれ
臓器の障害:甲状腺
飲み込むと有害
吸入すると生命に危険
呼吸器への刺激のおそれ
アレルギー性皮膚反応を起こすおそれ
水生生物に非常に強い毒性
長期的影響により水生生物に非常に強い毒性
長期又は反復ばく露による臓器の障害:皮膚,甲状腺,全身毒性

注意書き　　: 使用前に取扱説明書を入手すること。
すべての安全予防措置を読み、理解するまでは取り扱わないこと。
取扱い後には顔や手など、ばく露した皮膚を洗う。
この製品を使用するときに、飲食または喫煙をしないこと。
保護手袋、保護衣、保護眼鏡、保護面を着用すること。
汚染された作業衣は作業場から出してはいけない。
粉じん・煙・ガス・ミスト・蒸気・スプレーを吸入しないこと。
室外もしくはよく換気された場所でのみ使用すること。
環境に放出しないこと。

3 組成、成分情報

化学名（成分名）	含有量wt%	PRTR法	官報公示整理番号		CAS No.
			化審法	安衛法	
（基礎培地）					
カゼインペプトン	0.23-0.27	N/A	N/A	N/A	N/A
肉ペプトン	0.23-0.27	N/A	N/A	N/A	N/A
胆汁酸塩	0.08-0.12	N/A	N/A	N/A	N/A
炭酸カルシウム	0.8-1.2	N/A	(1)-122	N/A	471-34-1
チオ硫酸ナトリウム	2.8-3.2	N/A	(1)-503	N/A	7772-98-7
精製水	93-97	N/A	N/A	N/A	7732-18-5
（サプリメント小袋）					
ヨウ素	0.4-0.8	N/A	N/A	N/A	7553-56-2
ヨウ化カリウム	0.3-0.7	N/A	(1)-439	N/A	7681-11-0
精製水	97-99	N/A	N/A	N/A	7732-18-5

4 応急処置

吸入した場合　：新鮮な空気のある場所に移し、医師の手当てを受ける。
皮膚に付着した場合：直ちに石鹸と大量の水で洗浄し、医師の手当てを受ける。
眼に入った場合　：水で数分間、注意深く洗浄する。コンタクトレンズを装着していて、容易に外せる場合は外すこと。その後も洗浄を続けること。眼の刺激が続く場合は、医師の手当てを受ける。
飲み込んだ場合　：口をすすぐ。意識のない人には、口から何も与えず、無理に吐かせない。医師の指示があった場合のみ吐かせる。医師の手当てを受ける。

5 火災時の処置

消火剤　：現場状況と周囲の環境に適した消化方法を行うこと。
火災時の特定危険有害性：熱分解は刺激性で有毒なガスと蒸気を放出することがある。
消火方法　：消火の際は、自給式呼吸器具および完全保護具を着用する。側面から、消火剤をかける。作業は安全な場所から行う。

6 漏出時の処置

人体に対する注意事項　：処理が終わるまで十分な換気を行う。関係者以外の立ち入りを禁止する。作業の際には適切な保護具を着用し、飛抹等が皮膚に付着したり、粉塵、ガスを吸入しないように注意する。風上から作業して、風下の人を避難させる。

環境に対する注意事項　：漏出した製品が河川等に排出され、環境への影響を起こさないように注意する。汚染された排水が適切に処理されずに環境へ排出しないように注意する。

封じ込め及び浄化の方法及び機材　：飛散したものは掃き集めて、密閉できる空容器に回収する。

二次災害の防止策　：漏出物を回収すること。

7 取り扱い及び保管上の注意

取り扱い
技術的対策　：皮膚に付けたり、粉塵を吸入しないように適切な保護具を着用する。火気厳禁とし、高温物、スパークおよび他の着火源から遠ざけること。

安全取扱注意事項：全ての安全注意を読み、理解するまで取り扱わないこと。取扱い後は、手および汚染個所をよく洗う。

保管　：直射日光を避け、冷蔵（4～9℃）にて保存する。

8 ばく露防止及び保護措置

許容濃度 :

成分	OSHA PEL	ACGIH TLV(s)	日本産業衛生学会
カゼインペプトン	N/A	N/A	N/A
肉ペプトン	N/A	N/A	N/A
胆汁酸塩	N/A	N/A	N/A
炭酸カルシウム	N/A	N/A	吸入性粉じん 2mg/m3 総粉じん 8mg/m3
チオ硫酸ナトリウム	N/A	N/A	吸入性粉じん 2mg/m3 総粉じん 8mg/m3
ヨウ素	N/A	TWA: 0.001ppm-I	0.1ppm; 1mg/m3
ヨウ化カリウム	N/A	TWA: 0.01mg-I/m3(I)	N/A

設備対策 : 換気の良い場所で使用する。
洗眼設備を設ける。
手洗い/洗顔設備を設ける。

保護具
呼吸器の保護具 : 呼吸用保護具(防じんマスク・防毒マスクなど)を着用すること。
防毒マスクを使用する際はガスの種類に対応した吸収缶を選定すること。
手の保護具 : 不浸透性の保護手袋を着用すること。
眼の保護具 : 保護眼鏡/顔面保護具を着用すること。ガスが発生する場合はゴーグルを着用すること。
皮膚及び身体の保護具 : 保護衣を着用すること。

9 物理的及び化学的性質

形状等 : 液状で茶褐色(サプリメント小袋)または乳白色(基礎培地)
臭気 : 特異臭
pH : データなし(使用時(溶解・混和後)はpH7.9±0.2)
沸点 : データなし(ヨウ素:184℃)
融点 : データなし(ヨウ素:114℃/ヨウ化カリウム:723℃)
引火点 : データなし
自然発火点 : データなし
密度 : データなし(ヨウ素:4.9/ヨウ化カリウム:3.13)
溶解度 : データなし
(ヨウ素:水に対する溶解度 0.03 g/100 ml(20℃)
ヨウ化カリウム:水に対する溶解度 水溶性)
(水に対する溶解度:ヨウ素:0.03 g/100 ml(20℃)

10 安定性及び反応性

引火・爆発性 : データなし
安定性 : 通常の取り扱い条件においては、安定である。
反応性 : 混合物としてデータなし
避けるべき条件 : 高温、直射日光。
混色危険物質 : カゼインペプトン:酸化剤
胆汁酸塩:酸化剤
炭酸カルシウム:酸類
チオ硫酸ナトリウム:酸類
ヨウ素:アンモニア、強還元剤
ヨウ化カリウム:強酸化剤
危険有害な分解生成物 : 胆汁酸塩:一酸化炭素、窒素酸化物
炭酸カルシウム:一酸化炭素、二酸化炭素
チオ硫酸ナトリウム:硫黄酸化物
ヨウ素:ハロゲン化物
ヨウ化カリウム:ハロゲン化物

11 有害性情報

カゼインペプトン	急性毒性	データなし
	局所効果	データなし
	感作性	データなし
	生殖細胞変異原性	データなし
	発がん性	データなし
	催奇形性	データなし
	生殖毒性	データなし
	特定標的臓器毒性(単回/反復 ばく露)	データなし
	吸引性呼吸有害性	データなし
胆汁酸塩	急性毒性	
	経口	区分外
	経皮	データなし
	吸入(蒸気)	データなし
	吸入(粉塵・ミスト)	データなし
	皮膚腐食性・刺激性	区分外
	眼に対する重篤な損傷・刺激性	データなし
	呼吸器感作性又は皮膚感作性	データなし
	生殖細胞変異原性	データなし
	発がん性	データなし
	生殖毒性	データなし
	特定標的臓器毒性(単回/反復 ばく露)	データなし
	吸引性呼吸器有害性	データなし
炭酸カルシウム	皮膚腐食性・刺激性	データなし
	眼に対する重篤な損傷・刺激性	データなし
	呼吸器感作性又は皮膚感作性	データなし
	生殖細胞変異原性	データなし
	発がん性	データなし
	生殖毒性	データなし
	特定標的臓器毒性(単回/反復 ばく露)	データなし
	誤えん有害性	データなし
チオ硫酸ナトリウム	皮膚腐食性・刺激性	データなし
	眼に対する重篤な損傷・刺激性	データなし
	呼吸器感作性又は皮膚感作性	データなし
	生殖細胞変異原性	データなし
	発がん性	データなし
	生殖毒性	データなし
	特定標的臓器毒性(単回/反復 ばく露)	データなし
	誤えん有害性	データなし
ヨウ素	急性毒性	
	経口 [日本公表根拠データ] rat LD50=315mg/kg (EPA Pesticide, 2006)	区分 4, 飲み込むと有害
	経皮 [日本公表根拠データ] rat LD50=3,333mg/kg (EPA Pesticide, 2006)	区分外
	吸入 [日本公表根拠データ] vapor: rat LC50=35ppm/4hr (EPA Pesticide, 2006)	区分1, 吸入すると生命に危険
	労働基準法:疾病化学物質	該当
	局所効果 皮膚腐食性・刺激性 [日本公表根拠データ]	区分2, 皮膚刺激

	ヒト 皮膚刺激性 (PATTY 6th, 2012)	
	眼に対する重篤な損傷・刺激性 [日本公表根拠データ] 眼刺激性 (PATTY 6th, 2012)	区分 2, 強い眼刺激
	呼吸器感作性又は皮膚感作性 皮膚感作性 [日本公表根拠データ] cat. 1; PATTY 6th, 2012	区分 1, アレルギー性皮膚反応を起こすおそれ
	生殖細胞変異原性	データなし
	発がん性 [日本公表根拠データ] ACGIH-A4(2022) : ヒト発がん性因子として分類できない	分類できない
	生殖毒性	データなし
	特定標的臓器毒性 単回ばく露 [日本公表根拠データ] 気道刺激性 (HSDB, 2014)	区分 3, 呼吸器への刺激のおそれ
	反復ばく露 [日本公表根拠データ] 甲状腺 (CICAD 72, 2009)	区分 1, 長期にわたる、又は反復ばく露による臓器の障害
	誤えん有害性	データなし
ヨウ化カリウム	急性毒性	データなし
	局所効果 皮膚腐食性・刺激性 眼に対する重篤な損傷・刺激性 [日本公表根拠データ] ラビット 僅かな刺激性 (HSDB, 2015)	 データなし 区分 2B, 眼刺激
	呼吸器感作性又は皮膚感作性 生殖細胞変異原性	データなし データなし
	発がん性 [日本公表根拠データ] ACGIH-A4(2022) : ヒト発がん性因子として分類できない	分類できない
	生殖毒性 [日本公表根拠データ] cat. 1B; CICAD 72, 2009; ATSDR, 2004 cat. add; CICAD 72, 2009; ATSDR, 2004	区分 1B, 生殖能又は胎児への悪影響のおそれ 追加区分, 授乳中の子に害を及ぼすおそれ
	特定標的臓器毒性 単回ばく露 [日本公表根拠データ] 甲状腺 (ATSDR, 2004)	区分 1, 臓器の障害
	反復ばく露 [日本公表根拠データ] 甲状腺、皮膚、全身毒性 (CICAD 72, 2009; 医療用医薬品集, 2016(2015))	区分 1, 長期にわたる、又は反復ばく露による臓器の障害

誤えん有害性　　データなし

12 環境影響情報

カゼインペプトン	環境影響に関するデータなし
胆汁酸塩	環境影響に関するデータなし
炭酸カルシウム	環境影響に関するデータなし
チオ硫酸ナトリウム	環境影響に関するデータなし

ヨウ素

生態毒性
水生環境有害性　区分 1, 水生生物に非常に強い毒性
区分 1, 長期継続的影響によって水生生物に非常に強い毒性

水生環境有害性　短期(急性)
[日本公表根拠データ]
甲殻類 (オオミジンコ) LC50=0.16mg/L/48hr (ECETOC TR91, 2003)

水溶解度	0.03 g/100 ml (20℃) (ICSC, 2004)
残留性・分解性	データなし
生体蓄積性	log Pow=2.49 (ICSC, 2004)
土壌中の移動性	データなし
他の有害影響	オゾン層への有害性データなし

ヨウ化カリウム

生態毒性	データなし
水溶解度	148 g/100 g (HSDB, 2010)
残留性・分解性	データなし
生体蓄積性	データなし
土壌中の移動性	データなし
他の有害影響	オゾン層への有害性データなし

13 廃棄上の注意

法令にしたがって適切な方法で廃棄すること。

14 輸送上の注意

ADR/RID(陸上規制)

国連番号	3495
品名	ヨウ素
国連分類	8
副次危険	6.1
容器等級	Ⅲ

IMDG(海上規制)

国連番号	3495
品名	ヨウ素
国連分類	8
副次危険	6.1
容器等級	Ⅲ

IATA(航空規制)

国連番号	3495
品名	ヨウ素
国連分類	8
副次危険	6.1
容器等級	Ⅲ

環境有害性

海洋汚染物質	該当

15 適用法令

消防法	: 消防活動阻害物質 政令第1条の10「届出を要する物質」
毒物及び劇物取締法	: 劇物 包装等級3
労働安全衛生法	: 名称等を表示すべき危険物及び有害物(法第57条) 名称等を通知すべき危険物及び有害物(法第57条の2)
危険物船舶運送及び貯蔵規則	: 腐食性物質(危規則第3条危険物告示別表第1)
航空法	: 腐食性物質(施行規則第194条危険物告示別表第1)
化学物質排出把握管理促進法(PRTR法)	: 非該当
輸出貿易管理令	: 非該当

16 その他の情報

参考文献および情報源 : 製品評価技術基盤機構 http://www.safe.nite.go.jp/ghs/ghs_index.html
IATA 航空危険物規則書
GHS対応モデルラベル・モデルSDS情報(厚生労働省)
化学大辞典 共立出版社
15710の化学商品 化学工業日報社
等

記載内容は現時点で入手できた情報に基づいて作成しておりますが、記載のデータや評価に関しては、いかなる保証をなすものではありません。危険有害性の評価は、今後の新しい知見で改訂されることもあります。また、記載事項は当製品についての通常の取り扱いを対象にしており、特別な取り扱いや組み合わせの場合は用途・用法に適した安全配慮の上お取り扱い願います。